

令和元年度重点事業

和歌山県では、2025年の急激な少子超高齢社会に向け、「和歌山県地域医療構想」が策定されました。人生100年時代を迎え、誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるために、在宅医療を含めた地域包括ケア体制の構築が進められております。このような状況の中、看護職はどの領域においても役割発揮が求められており、大きな期待が寄せられています。

和歌山県看護協会は、平成24年度より公益社団法人となり今年で8年目を迎えました。定款4条にそって、本協会の理念である「県民の健康な生活の実現」を目指して ①看護の質の向上、②看護職がいきいきと働き続けられる環境づくり、③看護領域の開発・展開を使命に掲げています。

今年度も、公益社団法人として、県民の期待に応えられる看護の実現をめざし、使命・活動理念を軸として、次の6項目を重点に掲げ、活動を展開してまいります。

1. 看護実践能力及び専門性の強化
2. 働き続けられる環境づくりと人材確保定着の推進
3. 県民の健康な生活の実現の推進
4. 地域包括ケアシステムの構築と推進
5. 保健師活動の体制整備と機能強化
6. 助産実践能力強化とその体制整備

重点事業

1. 看護実践能力及び専門性の強化

看護職は、生涯にわたり自己の能力開発に努め、看護の質の向上を図ることが責務です。

看護専門職能団体としての役割として、生涯教育を支援し、看護の質の向上を図ることは、協会事業の柱でもあります。

今年度も、看護職一人ひとりが自己研鑽して看護の力を発揮できるよう、教育計画に基づいて新人看護職員研修をはじめ、看護職のキャリア開発支援を推進し、看護実践能力の強化に努めます。

今年8月8日（木）・9日（金）の両日、「日本看護学会－看護教育－学術集会」

テーマ「紀の国から未来に翔けよう看護の心 ～人生100年時代に向かって看護教育を創造しよう～」を開催します。実践に根差した学術集会の成果を通して、看護の質向上のための価値ある研究活動を推進してまいります。

2. 働き続けられる環境づくりと人材確保定着の推進

団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向け、看護を取り巻く環境も「治す医療」から「生活を支える医療」へと大きな転換期にあり、人材確保は喫緊の課題です。

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の一部改正により、平成 27 年 10 月から、看護職が離職等の際に都道府県ナースセンターに届出ることを努力義務とする制度が開始されました。また、身近な場所で離職者の届出促進と就労相談が行えるよう、ハローワーク（和歌山・田辺）と連携し「ナースのお仕事相談」を月 4 回開催いたします。

また、施設訪問等により、ナースセンターの周知を図り、ナースセンターが看護職の確保・定着の総合拠点としての役割を果たしていけるよう取り組んでまいります。

また、今年 4 月から働き方改革関連法が順次施行されました。施設代表者や会員に周知を図るとともに、職場づくり、人づくり、ネットワークづくりに向けて、行政、労働局、ハローワーク等、各関係団体と連携して、ナースセンター事業を強化し、働き続けられる環境づくりと人材の確保・定着の推進に努めます。

3. 県民の健康な生活の実現の推進

看護研修センターを拠点に「県民の健康な生活」の実現に向けて、看護週間や老人月間、「まちの保健室」等の事業を展開しています。

今年度も、行政や関連団体と連携しながら、各事業を推進してまいります。

同時に、和歌山県看護協会への理解を深めて頂くために、様々な機会を捉えて情報発信に努め、県民の健康な生活の実現を推進してまいります。

4. 地域包括ケアシステムの構築と推進

少子高齢多死社会の到来に伴い、要介護高齢者や認知症者の増加等により、介護・福祉施設や在宅療養の場における看護職への期待は拡大の一途を辿っています。

和歌山県は高齢化も全国を上回る速さで進行し、平成30年1月1日現在全国第8位、近畿府県内では第1位で、超高齢社会を迎えています。

看護協会では、在宅領域のネットワークづくりや、人材の確保・育成及び看護の質向上に向けて「退院支援看護師研修」、「訪問看護入門研修」、「保健師研修（中堅期）」等を実施してまいります。

今年度も看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）、Ⅱ（在宅領域）、和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会、行政及び関係機関等と連携しながら、在宅看護、介護施設等の看護の機能を強化し、療養を支える訪問看護・介護領域における看護の質の向上並びに人材確保に努めてまいります。

5. 保健師活動の体制整備と機能強化

保健師は個人及び地域全体の健康増進や疾病予防を図るため、平成 25 年 4 月に示された保健師活動指針に基づき保健活動を推進していく役割があります。

生活習慣病予防や身体維持の機能向上を図り、健康寿命の延伸に向けた取り組みや、住み慣れた地域でその人らしく暮らしていける地域包括ケアシステムを推進してまいります。

保健師職能委員会では、これらを実現していくために、保健師の専門性の強化、ネットワー

クづくり、保健師職能の組織力アップを目指して保健師の連携強化と課題解決、保健師活動指針の普及に取り組んできました。

今年度においても、職能集会、事例検討会、保健師交流会等を継続し、保健師の資質向上と連携強化に努めてまいります。

6. 助産実践能力強化とその体制整備

平成 28 年度より CLoCMiP レベルⅢ認証制度が開始され、初めての更新時期が来年度となっているため更新要件を補えるように研修会を企画していきます。そして切れ目のない妊娠・出産・子育て支援を図るために地域との連携体制の周知と推進に努めてまいります。

また、安全で安心な出産環境が提供できるように「院内助産・助産師外来ガイドライン 2018」の周知・普及に努めてまいります。

今年度においても、職能集会、産科管理者交流会、助産師研修会、思春期教室等を継続し、専門性の強化と連携体制整備に努めてまいります。

令和元年度事業計画

事業計画は、定款4条の6つの事業に沿って掲載

- (1) 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
- (2) 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業
- (3) 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善等に関する事業
- (4) 地域ケアサービスの推進に関する事業
- (5) 日本看護協会との協力及び連携に関する事業
- (6) その他本会の目的達成のために必要な事業

・二重下線は重点事業

・下線は新規事業

I. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

1. 看護教育に関する事業

1) 教育計画の企画・実施・評価

- (1) 新人教育 5 コース
- (2) ジェネラリストを育成する教育 27 コース (衛星通信を含む)
認知症ケア加算2に関わる研修を含む
- (3) 管理者を育成する教育 7 コース
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修を含む
- (4) 教育者・研究者を育成する教育 (県受託事業) 3 コース
 - ①和歌山県保健師助産師看護師実習指導者講習会
 - ②看護師等養成所専任教員の継続研修
 - ③新人看護職員実地指導者研修

2) 認定看護管理者教育課程 2 コース

- (1) ファーストレベル教育課程 (105 時間 定員 50 名)
開講式 6 月 12 日、閉講式 7 月 26 日 予定
- (2) セカンドレベル教育課程 (180 時間 定員 30 名)
開講式 9 月 18 日、閉講式 12 月 12 日 予定
- (3) 平成 30 年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者の看護管理実践報告会
開催日：令和 2 年 2 月頃の予定

3) 医療安全

- (1) 医療安全管理者養成研修 8 日間
- (2) 医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修

4) その他

- (1) 退院支援看護師研修 6 日間 (県受託)
- (2) 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修 2 回 (紀北・紀南) (県受託)

- (3) 看護職員認知症対応力向上研修 3日間 2回 (紀北・紀南) (県受託)
- (4) 保健師研修 (中堅期) 6日間 (県受託)
- (5) 認定看護師フォローアップ研修
- (6) 「看護管理」に関する出前講座 8コース
- (7) 認定看護管理者交流会

2. 学会等学術振興に関する事業

- 1) 第50回日本看護学会—看護教育—学術集会 令和元年8月8日・9日
「紀の国から未来に翔けよう 看護の心
～人生100年時代に向かって看護教育を創造しよう～」

3. 図書室の運営に関する事業

- (1) 図書・雑誌等の購入及び図書利用の促進
- (2) 最新看護索引 Web 機関版の利用促進
- (3) 「医中誌」の利用促進

4. 災害時の看護支援活動事業

- (1) 災害支援ナースの育成及び登録の推進
- (2) 県看護協会・地区支部のネットワークの強化及び合同防災訓練

II. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業

1. 労働環境等の改善及び就業促進に関する事業

1) 就業促進事業

①・復職支援強化・就業促進事業

ナースセンター サテライト開設 (ハローワークとの連携) (県受託)
(和歌山・田辺) 毎月2回

- ・ナースセンター・ハローワーク連携事業
求職者情報の共有

②看護職等の離職時の届け出に関すること (とどけるん)

③ナースバンク事業 ナースセンターだより (年4回)

④就労環境改善事業

- ・WLB 推進ワークショップ (1日間)
- ・WLB フォローアップ・ワークショップ (1日間)

⑤ナースセンター事業推進委員会

- ・再就業促進研修 (ナースの輝く人生応援交流会) 1回

⑥施設訪問の実施

2) 離職防止対策事業

- ・「ナース相談窓口」
- ・施設訪問の実施 (再掲)

3) 看護職の健康管理

①看護職のメンタルサポート

- ②看護職の喫煙問題に関すること
- 4) 潜在看護職員復職支援強化研修事業
 - ①潜在看護職員復職支援研修 2回(紀北6月・紀南10月)
 - ②ナースのお仕事相談(ハローワークとの連携) 和歌山、田辺(月2回)(再掲)
 - ③技術演習(採血) (第1・第3 木曜日)
- 5) 和歌山県医療勤務環境改善支援センター運営協議会への参画
- 6) 夜勤・交代制勤務のガイドラインの普及

Ⅲ. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善等に関する事業

1. 三職能合同活動

- 1) 研修会 令和元年 9月14日(土) PM
講演: テーマ「働く上でのコミュニケーションスキルを学ぶ」
講師: 川乗 賀也 氏(岩手県立大学 准教授)

2. 保健師職能委員会活動

- 1) 職能集会
- 2) 保健師交流会
- 3) 保健指導ミーティングの開催
- 4) 組織強化への対策
 - (1) 「保健師職能だより」発行
- 5) 保健師活動指針の普及・活用

3. 助産師職能委員会活動

- 1) 職能集会
- 2) 助産師研修会開催
- 3) 助産師交流会
- 4) 思春期教育: 思春期教育出前教室の開催

4. 看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同活動

- 1) 職能集会
看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会 令和元年 9月14日(土) 10:00~12:00
テーマ: 生命の尊さと、それを取り巻く自然環境の重要性について ~心で感じる~
講師: 宇井 晋介(串本町観光協会事務局長)

5 - 1. 看護師職能Ⅰ委員会活動

- 1) 看護師の展望と継続教育
 - (1) 研修会の開催
- 2) 働き続ける職場づくりへの推進
 - (1) 研修会の開催
 - ①看護管理者研修
テーマ「新任看護管理者のための管理マネジメント」

講 師：検討中

②准看護師研修会

テーマ：「食べるための口づくり」

講 師：井道 達子氏（名手病院 歯科衛生士）

③男性看護職交流会

テーマ：「自分のキャリアを語ろう」 Part II

5 - 2. 看護師職能Ⅱ委員会活動

・介護・福祉関係施設・訪問看護ステーション等の看護師に関わる出前講座
（和歌山県訪問看護連絡協議会と合同研修） 県内 2箇所

テーマ：訪問看護サービスでの暴力対策

講 師：山崎 和代氏

（西宮市社会福祉事業団訪問看護課 保健師・認定看護管理者）

・講 演：テーマ：「エンドオブライフ」

講 師：検討中

6. 医療安全の推進に関する事業

- 1) 医療安全管理者養成研修 8日間 (再掲)
- 2) 医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修 (再掲)
- 3) 医療施設の医療安全情報をホームページに掲載
- 4) 医療安全に関する相談対応・情報提供
 - (1) 黒潮に掲載「医療安全数珠つなぎ」
 - (2) 看護職賠償責任保険の普及

IV. 地域ケアサービスの推進に関する事業

1. 看護の心普及啓発事業

1) まちの保健室の開催

(1) まちの保健室

場所：スーパーセンターオークワセントラルシティ和歌山店 4回

(2) 高校生・短大生への健康チェック

(3) 和歌山刑務所矯正展での健康チェック

(4) リビングフェスタにおける健康チェック

(5) わかやま健康と食のフェスタ 2019 における健康チェック

2) 看護週間事業

・ふれあい看護体験

・8地区支部での1日まちの保健室

・看護の日の記念行事（ナースディフェスタ 和歌山） 5月6日（月）

講演1 テーマ：「災害看護の現場から ～地域の生命を支えるとは～」

講師：高岸 壽美 氏

(日本赤十字社和歌山医療センター看護部長兼和歌山赤十字看護専門学校副学校長)

講演2 テーマ：「フライトナースの現場から ～時間との戦いの中で～」

講師：紙谷 侑平 氏 (和歌山県立医科大学附属病院看護師)

健康チェック (骨密度測定)

白衣体験、

- 3) 看護学生への進路相談
- 4) 老人看護月間行事 (8 地区支部で実施)
 - ・「出前健康チェック」等
- 5) 高齢者権利擁護等推進事業看護実務者研修 (県受託)

2. 訪問看護の推進事業

訪問看護入門研修 3日間 (県受託)

V. 日本看護協会との協力及び連携に関する事業

1. 日本看護協会との連携

1) 日本看護協会主催の会議

- (1) 通常総会・全国職能別交流会 6月6日(木)・7日(金) 於：函館アリーナ
- (2) 理事会 年6回
- (3) 全国職能委員長会 8月21日(水)
- (4) 全国法人会員会
- (5) 地区別法人会員会・職能委員長会 10月28日(月)・29日(火) 滋賀県
- (6) 各担当者会議
 - ・都道府県看護協会政策責任者会議 9月26日(木)
 - ・医療安全推進会議
 - ・都道府県看護協会教育担当者会議 7月31日(水)
 - ・都道府県看護協会図書室担当者会議
 - ・都道府県看護協会災害看護担当者会議
 - ・ナースセンター事業担当者会議
 - ・ナースセンター相談員連絡会議
 - ・全国准看護師制度担当役員会議
 - ・訪問看護連絡協議会全国会議
 - ・都道府県看護協会広報担当役員会議
 - ・都道府県看護協会事務担当者会議
 - ・新会員情報管理体制担当者会議 7月11日(木) 予定
 - ・都道府県看護協会看護労働担当者会議

2. 日本看護協会重点政策への協力

1) 看護基礎教育制度改革の推進

- 2) 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築
- 3) 看護職の働き方改革の推進
- 4) 看護職の役割拡大の推進と人材育成

VI. その他本会目的達成のために必要な事業

1. 組織強化に関する事業

- 1) 会員数の増加・拡大
 - (1) ホームページの充実
 - (2) 新人看護職員オリエンテーション 4月15日(月)午後
 - (3) 病院協会 新人職員オリエンテーション
 - (4) 看護師等学校養成所の行事への参加
 - (5) 看護学校への訪問
- 2) 会員サービスの充実
 - (1) ホームページ等での情報提供(スマホ対応)
 - (2) 会員からの問い合わせ・相談対応
 - (3) 会員の福利厚生(表彰・慶弔見舞・災害見舞・大和ハウス工業(株)会員割引等)
- 3) 地域における看護職のネットワーク強化事業(県看護協会の普及・啓発)
- 4) その他

2. 円滑な組織運営

- 1) 諸会議の開催
 - (1) 総会 令和元年6月22日(土) 場所:和歌山県民文化会館 小ホール
 - (2) 理事会(年6回)
 - (4) 支部長会議
 - (5) 理事・各委員長合同会議(年2回)
 - (6) 代議員研修会 令和元年5月15日(水)PM
 - (7) 監査(年2回)
 - (8) 各委員会の開催
 - ①各職能委員会
 - ②各委員会
- 2) 広報
 - (1) 和歌山県看護協会会報「黒潮」発行 年4回
ナースセンターだより 年4回(再掲)
 - (2) ホームページの充実及び閲覧の推進

3. 災害時の看護支援活動

- 1) 災害支援ナースの育成及び登録の推進(再掲)
- 2) 県看護協会・地区支部のネットワークの強化及び合同防災訓練(再掲)
- 3) 近畿地区看護協会災害支援ネットワークの構築

- 4) 災害支援ナースの身分の保障（傷害保険の加入）
- 5) 日本看護協会との合同防災訓練への参加
- 6) 市・県行政との連携
 - (1) 和歌山県防災会議への参画
 - (2) 和歌山県・市等への災害医療対策会議への参画

4. 政策への参画

- ・行政や県議会等への要望
- ・和歌山県看護連盟との連携

5. 関係団体共同事業参加

- 1) 関係機関の委員会および協議会等への参画
- 2) 後援・協賛依頼への協力